

9 実践チェックリスト

実践チェックリストを活用して、適切な作業をもれなく実践し、発病リスクを軽減させましょう。

(1) 育苗ハウス

【前作終了～次作育苗ハウス準備】 (→ P6 「(5) 育苗前の準備作業」を参照)

- 育苗終了後は残さを除去しましたか？
- 育苗終了後は月 1～2 回程度耕うんを繰り返す、残さを腐熟させましたか？

【土壌消毒】 (→ P6 (5), P10～11 を参照)

- 地温が高い時期に実施しましたか？(遅くとも 11 月まで)
- 土壌消毒時の土は、握って自然にひび割れする程度の水分ですか？
- 目的に合った剤を選択しましたか？(殺センチュウ剤か、殺菌剤か)
- 土壌消毒剤の処理量・処理方法はラベルに従いましたか？
- 土壌消毒剤の処理後はビニル被覆をしましたか？
- 温度に応じてくん蒸時間を十分に確保しましたか？

【種いも選別】 (→ P7 「(6) 種いも伏せ込み時のポイント」を参照)

- 種いもを選別し、腐敗等の異常があった芋は取り除きましたか？
- 黒斑病対策のため、種いも消毒を実施しましたか？

【採苗】 (→ P7 「(7) 採苗、苗調整時のポイント」を参照)

- 生育不良や発病した株は、株ごと除去しましたか？
- 生育の良い株から採苗しましたか？
- 地際から 5cm 以上離して切りましたか？
- ハサミをライター等で消毒しながら使いましたか？

【苗消毒】 (→ P7 「(7) 採苗、苗調整時のポイント」を参照)

- 薬液は消毒当日に作ったものですか？
- 切り口が薬液に完全に浸かっていますか？
- (ベンレート水和剤の場合) 薬液に 20～30 分間つけましたか？

【種いも生産】 (→ P5 (3), P 21 (4) を参照)

- 種いも更新用に、ウイルスフリー苗を導入しましたか(毎年種いも更新)？
- 種いもはリスク分散のために複数ほ場で種いも専用ほ場を設置しましたか？
- 種いもは病気の出ないほ場から採りましたか？

(2) 本ぼ

【前作終了直後】（→P16, P21 (3), P22 (5) を参照）

- 前作で発病のない（少ない）ほ場を選びましたか？
- 前年の残さは充分耕うんして腐熟させましたか？
- 前作で発病（腐敗）した芋は持ち出しましたか？
- 腐熟促進剤は夏場に使用しましたか？
- サブソイラやブラソイラで排水対策をしましたか？

【植付け前】（→ P12~13「6 排水対策～梅雨前に、ほ場の点検を！～」を参照）

- 汚染されたほ場で使用した道具や機械は、使用後洗浄しましたか？
- 枕畝の一部切除や、枕畝の未設置など表面排水対策を実施しましたか？
- 大きなほ場は複数箇所排水口を設置しましたか？
- 明きょはほ場外につなげて、ほ場内に水たまりが残らないようにしましたか？

【土壌消毒】（→ P10~11「5 さつまいも栽培ほ場の土壌消毒」を参照）

- 土壌消毒時の土は、握って自然にひび割れする程度の水分ですか？
- 目的に合った剤を選択しましたか？（殺センチュウ剤か、殺菌剤か）
- 土壌消毒剤の処理量・処理方法はラベルに従いましたか？
- 土壌消毒剤の処理後はビニル被覆をしましたか？
- 温度に応じてくん蒸時間を十分に確保しましたか？

【生育初期（植付 3 週間～2か月程度）】（→ P14「7 初期発生株は抜き取りましょう」を参照）

- 初期発生株の抜き取りしましたか？
- 予防剤（ジーファイン水和剤、Z ボルドー）を散布しましたか？

【生育中期】（→ P2「2 さつまいも栽培ほ場の栽培体系」を参照）

- ほ場を巡回し、被害状況を把握しましたか？
- 被害が見られるところは早掘しましたか？

【収穫時】（→ P16, P22 (5) を参照）

- 発病ほ場からの土壌や残さの持ち込みをしないよう、道具や機械は、使用後洗浄しましたか？
- できるかぎり残さは持ち出しましたか？
- 残さは速やかにすき込みましたか？

【収穫後】（→ P3 (3), P22 (5) を参照）

- 再萌芽した株やほ場周辺の残さは抜き取りましたか？
- 地温の高い時期、月に 1～2 回耕うんし、残さを分解しましたか？
- 厳寒期、霜に残さをあて、腐熟させましたか？

【土づくり】（→ P8~9「4 実践しよう！さつまいもの土づくり」を参照）

- 牛糞完熟たい肥をいれましたか？
- 冬場、緑肥を植えましたか？